

# 鳥取県林業試験場

Tottori Prefecture Forestry Research Center





# 多様で健全な森林づくりの実現を目指して

令和3年3月、鳥取県は「とっとり森林・林業振興ビジョン」を作成し、木材生産・利用の促進と環境保全等の調和がとれた多様で健全な森林づくりの実現を目指しています。

鳥取県林業試験場では、社会情勢の変化を踏まえながら、当該ビジョンの施策目標に沿った試験研究を進めるとともに、本県独自の特性に応じた技術開発を行うことにより、森林資源の循環を担う本県の森林・林業・木材産業の振興に貢献しています。

## 【林業試験場の試験研究の方向性】

森林を育て未来につなぐ  
(健全で豊かな森林づくり)

森林の恵みを地域に活かす  
(県産材の需要拡大)

### ● 地域に根ざした取組の推進

☆地域の森林・林業・木材産業の技術開発に協力します。

☆試験研究成果の実用化を図り、タイムリーに情報発信します。

☆開かれた森林・林業・木材産業分野の研究・技術開発等の拠点として、技術相談等にも応じています。

### ● 森林・林業・木材産業関係者等への技術支援



▲山地災害リスクの基礎知識、事象を現地指導



▲木造公共建築物に使用する製材品の含水率試験を支援



▲県内産カラマツの強度試験を実施し、再造林樹種としての有用性を検証

### ● 研究員の知識や技術を活かした県民への普及啓発



▲森林・林業・木材セミナーを開催し、研究成果を情報発信



▲県内の大学生に林業試験場の研究内容を講義



▲地元中学生の職場体験学習を受け入れ



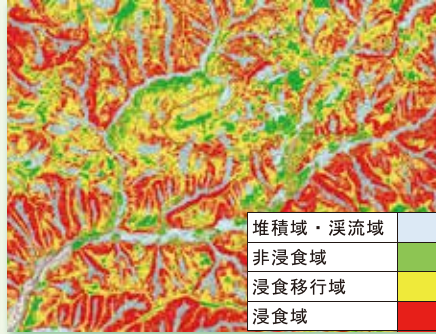
# ◆ 健全で豊かな森林づくり ◆

## ● 林地の水土保全機能の強化

林地崩壊発生場所予測のための地盤調査や、ナラ枯れ被害跡地の植生回復の調査を行い、安全で住みよい県土づくりに貢献します。



▲地下水音探査法による林地崩壊発生場所の予測



▲山地区分図の作成



▲ナラ枯れ被害跡地の植生回復状況を調査

## ● 主伐再造林の推進に向けて

コンテナ苗や早生樹等の植栽技術、林木に対する病虫獣害などの防除技術を確立します。



裸苗（左）とコンテナ苗（右）

▲主伐再造林で利用されるコンテナ苗の成長試験



▲造林樹種として期待される早生樹(センダン)の調査



▲再造林地に現れるニホンジカの食害調査

## ● 優良品種の開発

花粉症対策品種、耐雪性品種、耐虫性品種などの開発を目指します。



▲花粉を全く生産しない無花粉スギの開発



▲根元曲がりしないスギ「とっとり沖の山」の開発



▲松くい虫被害に強い「とっとりパワー松」の開発



# ◆ 県産材の需要拡大 ◆

## ● 高品質の製材品生産技術の開発と普及

県産製材品の高品質化のため、製材や乾燥の手法を研究します。



▲大径材の活用に向けた心取り製材の研究



▲柱角等の反りを軽減する人工乾燥試験



▲製材品の栈木痕を軽減する栈木形状を改良する試み

## ● 加工・利用技術の向上

県産材を使った CLT (注1)、LVL (注2) などの利用方法を提案します。



▲CLTの強度試験



▲LVLの不燃化の試み



▲有節スギ板材の圧密加工技術の開発(特許取得)

(注1) 挽き板(ラミナ)を繊維方向が直交するように積層接着した木質パネル。

(注2) ローターリース等で丸太をかつら剥きした単板を、繊維方向を揃えて積層接着した木質材料。

## ● 県産材の諸性能の把握と利用技術の開発

県産材の様々な性能を調査し、県産材のさらなる利用拡大に努めます。



▲県産材を使用したトラス構造の強度試験

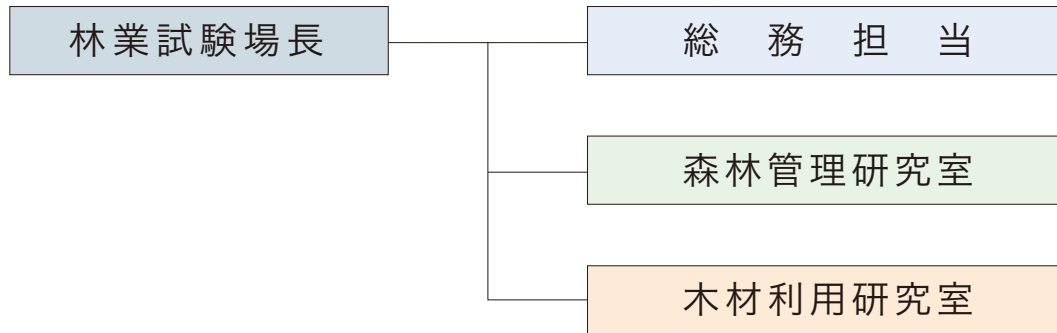


▲県産カラマツの強度性能調査

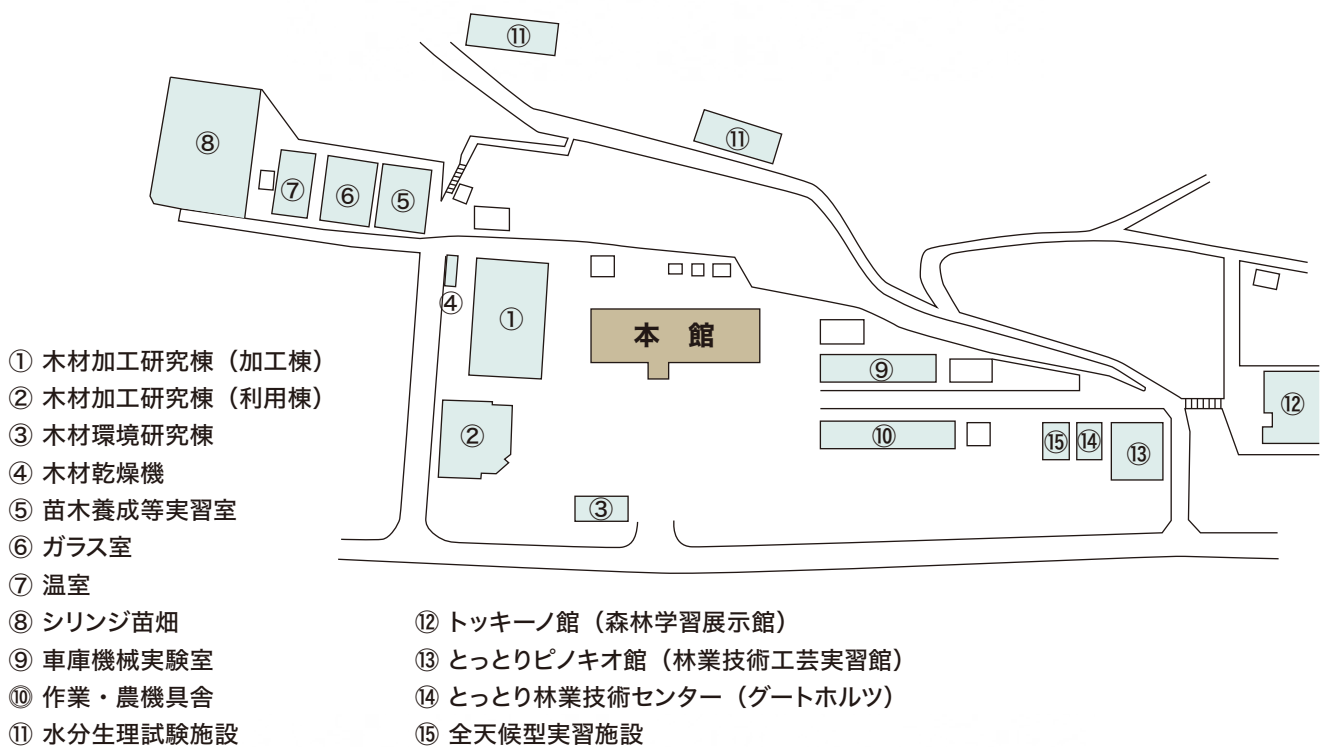


▲県産スギ高齢級材の寸法安定性能調査

# 組 織



# 施 設 配 置 図



# 一 般 開 放 施 設

木材加工研究棟の機械器具を有償（減免措置あり）で一般開放しています。機械器具の使用、依頼試験に当たっては、事前に申し込みが必要です。機械器具使用願、試験依頼書は林業試験場ホームページからダウンロードできます。

- **使用時間** 午前9時から午後4時30分まで  
（土日祝祭日、12月29日から1月3日は使用不可）

- **使用できる機械器具**  
送材車付帯のご盤、軸傾斜丸のご盤、自動一面かんな盤、ホットプレス、コールドプレス、薬剤注入機、実大強度試験機等（詳しくは林業試験場ホームページをご覧ください）

- **依頼試験**  
実大強度試験、粘着強度試験、環境試験、物性試験、含水率試験等（詳しくは林業試験場ホームページをご覧ください）

# 21世紀の森

「鳥取県立21世紀の森」(面積36.5ha)は、霊石山(標高334m)の一部を利用して設けられています。ここでは、トッキーノ館(森林学習展示館)・とっとりピノキオ館(林業技術工芸実習館)をはじめ、四季を通じて県民に開放し、自然観察や体験学習の場を提供しています。



〒680-1203 鳥取県鳥取市河原町稲常113

TEL 0858-85-6221 FAX 0858-85-6223

E-mail ringyoshiken@pref.tottori.lg.jp

URL <https://www.pref.tottori.lg.jp/ringyoshiken/>



トッキーノ館・とっとりピノキオ館のご利用は、「ととりの森を守り木を活かす会(指定管理者)」にお問い合わせください。

電話 0858-71-0524

## ● 林業試験場へのアクセス

車を利用

鳥取自動車道「鳥取南IC」を降り、国道53号を南へ約2km進み、袋河原橋を渡り左折して300m

JR鳥取駅から路線バスを利用

用瀬智頭線「稲常」下車、徒歩15分【所要時間約40分】

